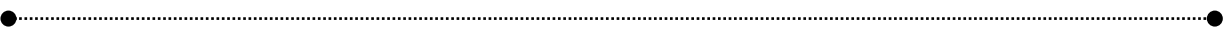


平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	歴史の遊歩道環境整備事業
事業主体 (連絡先)	歴史の遊歩道を継承する会 (事務委託先：松本市波田商工会 TEL：92-2246)
事業区分	(3) 教育・文化の振興に関する事業 (6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード事業
総事業費	925,627 円 (うち支援金：557,000 円)



事業内容

松本市波田地区にある波田城址周辺は、沢からの浸食等により通行できない状況が続いている。

2年間整備事業を実施したが、軟弱な地質のため、作業が予定より進まず完成まで至っていなかった。

今年度も引き続き、地元有志の各団体からご協力をいただき、改修工事を行った。

また、知名度を向上させるためにパンフレットの製作を行った。ウォーキング・ハイキングコースとして活用してもらうため、小中学生向けの見やすいパンフレットを製作した。



【看板設置後】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

今回、沢からの浸食を防ぐため、土側溝を掘ったことにより土壌のぬかるみが解消され、本来の歴史の遊歩道として、ウォーキング・ハイキングコースとして活用できるようになった。

また、波田城址入口までの整備が完了し、以前より困難が少なく散策ができるようになった。

パンフレットを製作し、地元の小・中学校に配布することにより、地元の歴史について学んでもらうきっかけ作りができた。

地域の関係団体が1つの事業に取り組むことにより、お互いに連携を図ることができた。

【目標・ねらい】

- ①歴史の遊歩道への入込増加
- ②レジャースポットとしての位置づけ
- ③地域の関係団体との連携

※自己評価【A】

【理由】

波田城址入口までの整備が終了し、当初の目的は達成できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

3年間改修工事を行ったことにより、本来の歴史の遊歩道として活用できるようになった。今後、天候の悪化により沢の水の増水や地質が軟弱で崩れやすいため、地域の関係団体と連携して維持していきたい。

地域の歴史のスポットとして、また健康増進につながるハイキング・ウォーキングコースとして、知名度を上げていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある